

なぜなぜ
ヒント①

空いている空間は、もっと自由に使おう！

議論の中では、使いきれていない公共施設として「〇っと」の名前が挙がりました。しかし、話を深めていくと、特定の機能が定まっていないからこそ、利用者によって多様な使い方がされていることが分かりました。「こういう使い方ができます」といった情報を発信することで、新たな利用者の創出につながる可能性があります。

また、公共施設に求められる機能として「学習

スペースの拡充」や「情報交換の場」が挙げられましたが、既存の空きスペースを活用すれば、新たな施設を建てなくても、そうした場づくりは実現できそうです。空間の有効活用においては、町民の自由なアイデアが活かされることで、これまで「できない」として町外に頼っていたことも、地域内で解決できるようになるかもしれません。

なぜなぜ
ヒント②

運営の仕組み改善に住民の声を

公共施設の利用を妨げている大きな要因として、「予約ルールのがかりにくさ」が挙げられました。中山町はスポーツ施設が充実していますが、予約ルールが複雑なため、町外の利用者にとっては使いにくく、「せっかくの大きな大会の開催を逃しているのではないか」といった懸念の声も聞かれました。

また、「分かりやすいルールが示されていないため、『分かる人だけが使っている』という利用

者の固定化が起きている」との指摘もありました。新たな施設が整備されるのであれば、町民が積極的に利用できるよう、予約や利用の仕組みを改善してほしいという声が多く上がっています。

さらに、こうした仕組みの改善にあたっては、「利用者である町民の声を反映してほしい」との要望もあり、意見を届けるための仕組みづくりも求められています。

なぜなぜ
ヒント③

コミュニケーションがまちづくりの原動力に！

今回の議論では、新しい施設に対する期待感だけでなく、既存の「使いきれていない施設」についても、「古いものをしっかり使う方法を考えよう」という前向きな意見が多く聞かれました。また、「知る人ぞ知る」施設の機能について、今回の議論を通じて初めて知ったという声もあり、「こうしてさまざまな人と情報交換ができる場がある

と良い」という意見も出されました。

このように、住民同士のやり取りが活発になることで、地域の課題やニーズが見えやすくなり、情報共有を超えて、地域活動における協働の可能性も広がります。偶然の出会いや会話が生まれる空間は、地域のつながりを深めるだけでなく、まちづくりの原動力となることが期待されます。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総合政策課まちづくり推進グループ・総務広報課防災安全対策室
(中山町大字長崎 120 番地 / 電話：023-662-4899)

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2026年1月発行〉

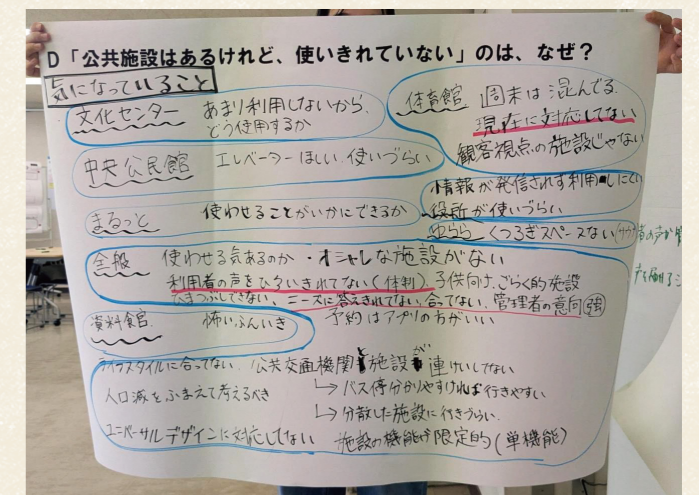


「公共施設はあるけれど、使いきれていない」のは、なぜ？

中山町では、現在策定を進めている「第6次中山町総合発展計画後期基本計画」及び「中山町公共施設再配置計画」をより良いものにするために、町民の皆さんが日常生活の中で感じている「もっとこうだったらいいのに…なぜ？」という不安や不満に向き合い、その根本的な課題と改善策を考える「なぜなぜ大会議」を今年8月に開催しました。このレポートでは、議論されたテーマの一つ「公共施設はあるけれど、使いきれていないのは、なぜ？」について、当日のワークショップで出された意見をお届けします。

昨年度の町民インタビューでは、既存の公共施設について「充実している」と評価する声有一定数あり、特にスポーツ関連施設やほんわ館に対する高評価が多く寄せられました。一方で、利用が偏っていることや、「使いにくい施設がある」「運営にもっと工夫がほしい」といった指摘も見られました。公共施設の再配置においては、新たな空間整備だけでなく、既存施設の運営のあり方にも改善の余地があることが明らかになりました。

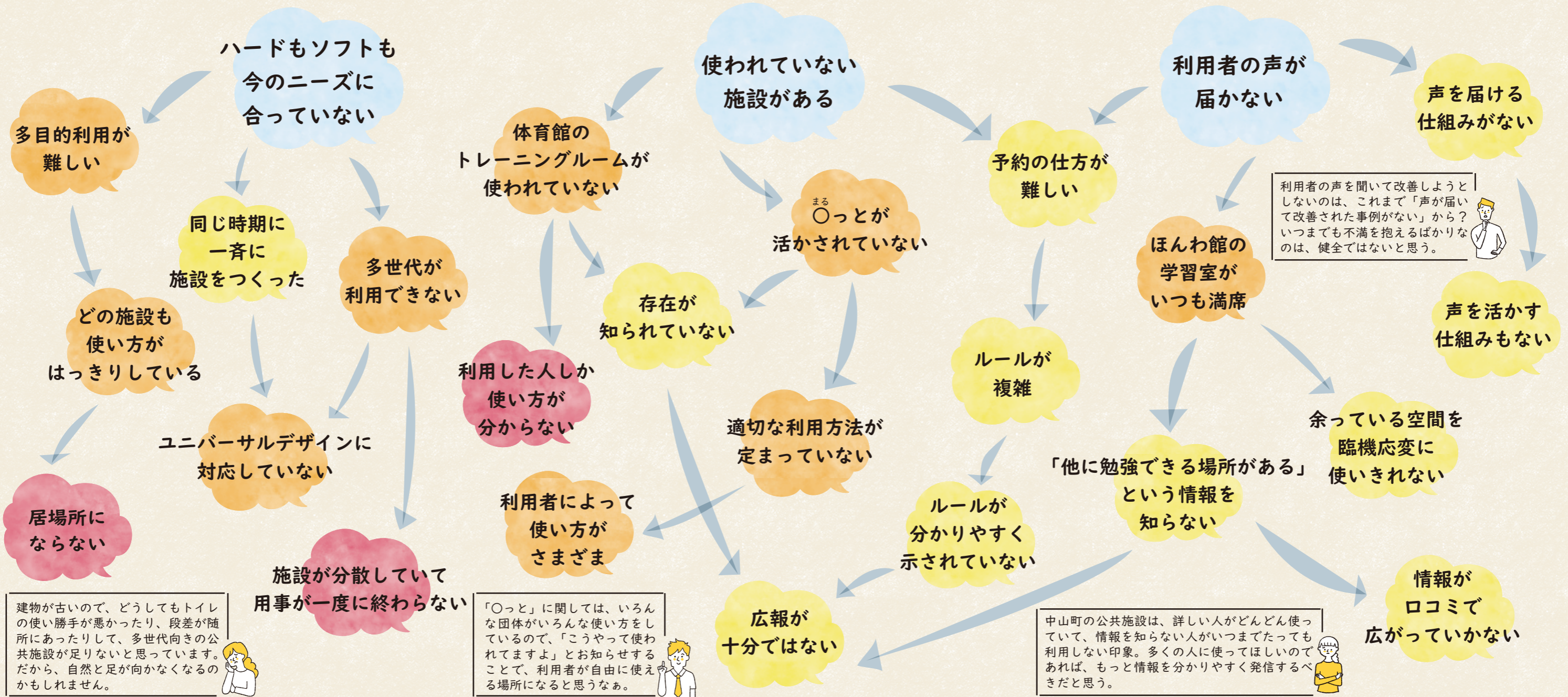
今回のなぜなぜ大会議では、空いている公共施設をもっと自由に活用しようという前向きな意見が多く出されました。予約ルールの見直しや情報発信、住民同士の交流の場づくりなど、既存施設の可能性を広げることで、まちづくりの活性化が期待される議論となりました。



なぜなぜ連鎖マップ

「公共施設はあるけれど、使いきれていない」のは、なぜ？

仕組みの不足
場づくり(機会)の不足
人材の活用不足
空間の未整備



課題解決のために 自分たちで取り組みそうなこと

使いきれない空間の発掘
使いきれていない公共施設が多すぎる！積極的活用を考えていかないと、課題を抱えたままになってしまう。町民が主体となって、空いている空間を活用するための議論を始めよう！

既存施設の活用を提案
たくさん空きスペースがあるのだから、新しく空間を増やす必要はないのでは？既存施設をしっかりと使い切るためのアイデアも現状では足りないと思う！

利用者として声を届けていく
現状の公共施設の使いにくさが、新しい施設にも継承されたら嫌だなぁ。公共施設の運営を担う行政にしっかりと声を届けて、改善を図ってもらえるように働きかけよう！

課題解決のために 行政に期待したいこと

予約ルールの見直し
何といても分かりにくい！熟練の利用者しか分からないルールや仕組みは、やっぱり改善する必要があるのでは？公共施設が「知る人ぞ知る」使い方になっている現状を改善してほしい。

施設の管理方法の多様化
ほんわ館の学習室は、特に学生たちから「もっと遅くまで使いたい」という声が聞かれる。管理スタッフがなくても利用できるような仕組みをDX推進等で実現できたらいいなぁ！

課題解決のために 新しい公共施設に期待したいこと

偶然的コミュニケーションが生まれる場所
今回の大会議で、世代を超えたコミュニケーションの楽しさを実感。意見やアイデアを共有できる、偶発的な交流が生まれるような空間を期待したい！

お喋りしながら勉強できる学習室
ほんわ館の学習室はやっぱり緊張する。集中するタイプの学習室だけでなく、もっとリラックスして利用できる学習室があるといいなぁ。

臨機応変に変わる空間と機能
今の公共施設は、設備だけでなく、機能も古くなってしまっている印象。時代の変化に合わせて使い方や機能を変えられる空間だと、どの時代も使いやすいのでは？